

コロナウイルス感染防止対策について

明日から授業再開となります。2年生は後期試験等を含み卒業に向けた最後の重要な期間となります。また1年生は後期試験や実習等の予定が入っています。これらの予定や計画を無事に行うためにも、すべての学生が今一度コロナウイルス感染症に対する基本的な対策を確認し、対応を取る必要があります。全国的にも感染が拡大しています。十分注意するようお願いいたします。

1、基本的なコロナ対策の再度の確認

①「人と人との距離の確保」・・・授業中、休み時間もそうですが、一番注意が必要なのはマスクを外す食事等の時間です。この時間は、飛沫を受けることがないよう一定の距離を取るよう注意してください。

人との距離は2メートル（最低1メートル）あける
会話する際は、可能な限り真正面を避ける

②「マスクの着用」・・・マスクは必ず着用するようにしてください。運動中のマスクについては、状況に応じ外すことを認めています。ただし冬季休業期間中の生活においては基本的にマスクを着用し行動するようにしてください。

外出して人込みにいるときや公共交通機関を利用する時、会話や周りに人がいる中で電話する時、5分間の会話は、一回の咳と同じ状態になります。
マスクを外す際は十分な距離を取るなどの注意をお願いします。

③「手洗いなどの手指衛生」・・・学校に到着した際もお願いしてきましたが、食事の前、帰宅時、その他できる限り手指消毒を行うようにしてください。

家に帰ったらまず手、次に顔を洗う
手洗いは30秒程度かけ、水と石鹸で丁寧に
帰宅したらなるべく早く着替え、できればシャワーを浴びる
3つの密を避けましょう

④健康観察・行動記録を行うこと（記録を付け保管し求めに応じて提出できるようにすること）。

健康観察・行動記録票はホームページにも掲載しています。冬季休業期間中は必ず健康観察・行動記録票を付けるようにしてください。冬季休業期間明けに提出してください。

多人数での会食は避けて
隣とひとつ飛ばし、互い違いに着席を
電車やエレベーターなどでの会話は自重を
毎朝、体温の測定・健康のチェックを
冬期休業期間中のコロナ対策について発熱やだるさなどの症状がある場合は、外出を避け、無理せず自宅で静養を
症状が長引くときや息苦しさや高熱などの強い症状がある時は、かかりつけ医や有症状者相談窓口にご相談を
行動の管理、履歴の記録（健康観察等の用紙に記録し、冬季休業期間明けの最初の授業で提出。）
移動を行う地域の感染状況に注意
感染が流行している地域との往来（旅行、帰省、出張）に当たっては、基本的な感染防止策の徹底など、慎重な行動を

⑤感染拡大地域との往来はできる限り避けてください。

感染拡大地域への往来はできる限り避けてください。

健康観察を行い冬季休業期間中に発熱等体調不良等のない場合、通常通り休み明けから通学してください。体調不良や不安がある場合は明日8時以降に連絡をお願いします。